

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 3年 1学期

係をがんばろう		4月(1時間)	
ねらい	学級の仕事を友達と協力し合いながら取り組むよさを基に、学級に必要な係について根拠を明らかにして話し合い、係とその仕事内容を集団決定するとともに、毎日の係活動に取り組むことによって、全員で分担、協力して仕事に取り組む楽しさを味わう。		
評価基準	(①知・技) 学級に必要な係について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 学級に必要な係についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、学級に必要な係について話し合ったり係活動を行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、係の種類を振り返る時間を設定する。	
本時	○係活動をしてよかった経験を発表し合い、学級の仕事を友達と協力し合いながら取り組むよさを知る。 ○学級に必要な係について根拠を明らかにして話し合い、自分の取り組みたい係を決める。 ○係ごとに話し合い、めあてを決めたり、活動の計画を立てたりする。	○話し合いへの意欲を高められるように、係活動が学級のために役立っていることについて助言する。 ○具体的な係を考えられるように、係の例を紹介したり、特に学級のために活動できていた係を発表するよう促したりする。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇学級に必要な係を発言したり、自分から進んで活動の計画を立てたりしている。 <発言・ポスター①②③>
事後	○めあてや計画に基づいて取り組む。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・係ごとにポスターを作り、掲示する。			

学級活動の計画をつくろう		(1時間)	
ねらい	計画委員会を中心に組織的に課題を解決していくことのよさを基に、計画委員会ごとに担当する議題について根拠を明らかにして話し合い、担当する議題を集団決定するとともに、役割を分担し合って協力して取り組むことによって、自分たちで生活をよりよくする楽しさを味わう。		
評価規準	(①知・技) 担当する議題について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 担当する議題を決めることについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、担当する議題について話し合ったり自分の役割を行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、2年生の時の計画委員会について振り返る時間を設定する。	
本時	○前期に行う学級活動の内容を知り、活動への見通しをもつ。 ○計画委員会ごとに担当したい題材について根拠を明らかにして話し合う。 ○担当する題材の調整を行い、活動のめあてや役割分担などを決める。	○話し合いへの意欲を高められるように、計画委員会を中心に組織的に課題を解決していくことのよさについて助言する。 ○具体的に題材について考えられるように、前期の生活の流れがわかる資料を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり今後の活動に向けて励ましたりする。	◇友達の考えを認めながら担当する議題を選んだり計画を立てたりしている。 <行動・学級活動計画書①②③>
事後	○計画委員会ごとに学級活動計画書を作成する。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・学級活動計画書を準備する。			

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 3年 1学期

「ともに分かる」クラスにしよう		(1時間)	
ねらい	「ともに分かる」クラスにすることで互いに高め合うことができるよさを基に、「ともに分かる」クラスにするために必要なことを根拠を明らかにして話し合い、みんなで実行していくことを集団決定するとともに、学級全体で協力して取り組むことによって、自分たちで生活をよりよくする充実感を味わう。		
評価規準	(①知・技) 「ともに分かる」クラスにするために必要なことについて根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 「ともに分かる」クラスにするために必要なことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、「ともに分かる」クラスにするために必要なことについて話し合ったり決めたことを行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、「共にわかろう」の掲示の内容を確認する時間を設定する。	
本時	○「共に分かる」クラスにしていくことのよさを知る。 ○「共に分かる」クラスにしていくためにみんなで取り組んでいくことについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○学級全体で取り組むことを決める。	○話し合いへの意欲を高められるように、「共に分かる」クラスにしていくことのよさを助言する。 ○取り組むことを具体的に考えられるように、「共にわかろう」の振り返りの項目を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇「『共に分かる』クラスになる」、「みんなができる」等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○決定したことを学級全体で実行する。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・「ともにわかろう」の振り返りシートを活用するとよい。			

学級目ひょうに近づこう		(1時間)	
ねらい	学級目標を友達と協力し合いながら達成することのよさを基に、学級全体で取り組んでいくことについて根拠を明らかにして話し合い、具体的な行動目標を集団決定するとともに、決めたことを協力して取り組むことによって、学級の生活を向上させる充実感を味わう。		
評価規準	(①知・技) 学級全体で取り組んでいくことについて根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 学級全体で取り組んでいくことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、学級全体で取り組んでいくことについて話し合ったり決めたことを行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、学級目標に込められた願いを伝える。	
本時	○学級目標を友達と協力し合いながら達成することのよさを知る。 ○学級目標のような学級にするために取り組んでいくことについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○学級全体で取り組んでいくことを決める。	○話し合いへの意欲を高められるように、学級目標の意義について助言する。 ○具体的な取組を考えられるように、具体的な学校生活の場面に基に学級目標を達成している姿を考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇学級目標に合っていることや、みんなができること等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○学級目標を基に、よりよい学級づくりを実行していく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・学級全体で取り組んでいくことは、学級で工夫して掲示できるとよい。			

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 3年 1学期

係の仕事をしゅうじつさせよう (1時間)													
ねらい	係活動のよさを知り、よりクラスみんなのためになる係の仕事について根拠を明らかにして話し合い、取り組むことを集団決定するとともに、日々の係活動を通して、自分の取組が学級の役に立っていることを実感する。												
評価規準	(①知・技) みんなのためになる係の仕事について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) みんなのためになる係の仕事についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、みんなのためになる係の仕事について話し合ったり決めたり決めた係の仕事を行ったりしようとしている。												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>指導上の留意点</th> <th>評価規準&lt;評価方法(観点)&gt;※太字は「記録に残す評価」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前</td> <td>○本時に話し合う議題を知る。</td> <td>○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、これまでの係活動の成果や課題を伝える。</td> </tr> <tr> <td>本時</td> <td>○アンケート結果から、係活動を行うよさを知らせる活動にやりがいを感じられるようにする。 ○係活動の工夫について、根拠を明らかにして話し合う。 ○取り組んでいくことを決める。</td> <td>○話し合いへの意欲を高められるように、係活動の楽しさややりがいについて助言をもらえるように、異なる係同士どんな工夫ができたかをアドバイスするよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。</td> </tr> <tr> <td>事後</td> <td>○決定したことを基に、よりよい係活動に取り組む。</td> <td>○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。</td> </tr> </tbody> </table>	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、これまでの係活動の成果や課題を伝える。	本時	○アンケート結果から、係活動を行うよさを知らせる活動にやりがいを感じられるようにする。 ○係活動の工夫について、根拠を明らかにして話し合う。 ○取り組んでいくことを決める。	○話し合いへの意欲を高められるように、係活動の楽しさややりがいについて助言をもらえるように、異なる係同士どんな工夫ができたかをアドバイスするよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	事後	○決定したことを基に、よりよい係活動に取り組む。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」											
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、これまでの係活動の成果や課題を伝える。											
本時	○アンケート結果から、係活動を行うよさを知らせる活動にやりがいを感じられるようにする。 ○係活動の工夫について、根拠を明らかにして話し合う。 ○取り組んでいくことを決める。	○話し合いへの意欲を高められるように、係活動の楽しさややりがいについて助言をもらえるように、異なる係同士どんな工夫ができたかをアドバイスするよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。											
事後	○決定したことを基に、よりよい係活動に取り組む。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。											
【備考】													

友だちづくり集会をしよう (2時間)																
ねらい	新しい友達をつくるよさを基に、友達のよさを見付ける集会の内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい集会の内容を集団決定するとともに、役割を分担し合い協力して集会を行うことによって、友達のよさを見付ける楽しさを味わう。															
評価規準	(①知・技) 友達のよさを見付ける集会の内容について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 友達のよさを見付ける集会の内容についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、友達のよさを見付ける集会の内容について話し合ったり友達づくり集会に参加したりしようとしている。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>指導上の留意点</th> <th>評価規準&lt;評価方法(観点)&gt;※太字は「記録に残す評価」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前</td> <td>○本時に話し合う議題を知る。</td> <td>○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、自分の友達について振り返る時間を設定する。</td> </tr> <tr> <td>第1時</td> <td>○調査結果を基に、新しい友達をつくることよさを知らせる。 ○新しい友達のよさを見付けることを目的とした集会の内容について、根拠を明らかにして話し合う。 ○集会の内容や役割分担を決定する。</td> <td>○話し合いへの意欲を高められるように、クラス替えの後、まだ互いによさを知らぬことを助言する。 ○具体的な集会の内容を考えると、多くの友達のよさが見付けられる内容になっているかどうかを助言する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の集会に向けて励ましたりする。</td> </tr> <tr> <td>第2時</td> <td>○計画を基に楽しく集会をする。 ○集会で知った友達のよさを発表し合う。</td> <td>○集会に積極的に参加できるように、集会のめあてやルール等について確認する。 ○日常生活に生かそうという意欲をもてるように、友達のよさを目撃されたことを称賛したり、これからの生活に向けて励ましたりする。</td> </tr> <tr> <td>事後</td> <td>○集会で知った友達のよさを手紙に書き、交換し合う。</td> <td>○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。</td> </tr> </tbody> </table>	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、自分の友達について振り返る時間を設定する。	第1時	○調査結果を基に、新しい友達をつくることよさを知らせる。 ○新しい友達のよさを見付けることを目的とした集会の内容について、根拠を明らかにして話し合う。 ○集会の内容や役割分担を決定する。	○話し合いへの意欲を高められるように、クラス替えの後、まだ互いによさを知らぬことを助言する。 ○具体的な集会の内容を考えると、多くの友達のよさが見付けられる内容になっているかどうかを助言する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の集会に向けて励ましたりする。	第2時	○計画を基に楽しく集会をする。 ○集会で知った友達のよさを発表し合う。	○集会に積極的に参加できるように、集会のめあてやルール等について確認する。 ○日常生活に生かそうという意欲をもてるように、友達のよさを目撃されたことを称賛したり、これからの生活に向けて励ましたりする。	事後	○集会で知った友達のよさを手紙に書き、交換し合う。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」														
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、自分の友達について振り返る時間を設定する。														
第1時	○調査結果を基に、新しい友達をつくることよさを知らせる。 ○新しい友達のよさを見付けることを目的とした集会の内容について、根拠を明らかにして話し合う。 ○集会の内容や役割分担を決定する。	○話し合いへの意欲を高められるように、クラス替えの後、まだ互いによさを知らぬことを助言する。 ○具体的な集会の内容を考えると、多くの友達のよさが見付けられる内容になっているかどうかを助言する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の集会に向けて励ましたりする。														
第2時	○計画を基に楽しく集会をする。 ○集会で知った友達のよさを発表し合う。	○集会に積極的に参加できるように、集会のめあてやルール等について確認する。 ○日常生活に生かそうという意欲をもてるように、友達のよさを目撃されたことを称賛したり、これからの生活に向けて励ましたりする。														
事後	○集会で知った友達のよさを手紙に書き、交換し合う。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。														
【備考】 ・国語科「みんなでできる遊びを聞き合おう」との関連を図るとよい。																

学級活動 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 3年 1学期

通学路の安全を考えよう		4月(1時間)	
ねらい	交通ルールやマナーを守って登下校することの大切さを理解し、安全な登下校の仕方について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに、一人一人が実行し、安全な生活を送る。		
評価規準	(①知・技) 交通ルールやマナーを守って登下校することの大切さを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 安全な登下校の仕方についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、安全な登下校の仕方について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、普段の登下校時の写真を提示する。	
本時	○VTRを基に、登下校の仕方について、よくできている点や改善すべき点について発表し合う。 ○安全な登下校の仕方について、根拠を明らかにして話し合う。 ○安全な登下校をするために、自分が取り組んでいくことを決める。	○問題意識を高められるように、バスの乗降、歩道や交差点の歩行等を撮影したVTR資料を提示する。 ○よりよい登下校の仕方について具体的に話し合えるように、模擬活動を行うよう促す。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりに取り組んでいくことを考えられた子どもを称賛したり励ましたりする。	◇安全な登下校の仕方について、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○自分が決定した方法を登下校の中で実行する。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・学校行事「交通安全教室」と関連を図り、交通安全教室後に実施する。 ・子ども安全協力の家を把握しておくことよい。			

楽しい給食(学校栄養士とのTT)		6月(1時間)	
ねらい	友達と会食するよさを理解し、みんなで楽しく給食を食べるためのマナーやルールについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに、一人一人が実行し、気持ちよく生活を送る。		
評価規準	(①知・技) 友達と会食するよさを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) みんなで楽しく給食を食べるためのマナーやルールについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、みんなで楽しく給食を食べるためのマナーやルールについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、普段の給食時の写真を提示する。	
本時	○給食のときに楽しいことや困っていることを発表し合い、友達と食べることのよさを知る。 ○みんなで楽しく給食を食べるためのマナーやルールについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいくマナーやルールを決定する。	○問題意識を高められるように、学校栄養士から一人の食事と友達と会話をしながら食べる給食との違いについて話をしてもらう。 ○よりよいマナーやルールについて話し合えるように、栄養や楽しい給食という面から助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりに取り組んでいくことを考えられた子どもを称賛したり励ましたりする。	◇口に食べ物を入れたまましゃべらない等のマナーやルールについて発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○マナーやルールを守り、楽しい給食にする。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・学校栄養士と連絡を取り合い指導を進める。授業もTTで行う。			

落とし物をなくそう		6月(1時間)	
ねらい	落とし物のない生活を送ることのよさを理解し、落とし物をなくすための方法について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った工夫を決定するとともに、一人一人が実行し、忘れ物をせずに気持ちよい生活を送る。		
評価 規準	(①知・技) 落とし物のない生活を送ることのよさを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 落とし物をなくすための方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、落とし物をなくすための方法について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容		指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、クラスの落とし物状況を確認する時間を設定する。	
本時	○落とし物をして困ることを発表し合い、落とし物のない生活を送ることのよさを知る。 ○落とし物をなくすための工夫について、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分がこれから工夫していくことを決める。	○問題意識を高められるように、落とし物のない生活のよさについて落とし物が少ない子どもにインタビューをする。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「落とし物が減る」「自分たちでできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの工夫が決められた子どもを称賛したり励ましたりする。	◇落とし物が減る、自分たちでできる等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○落とし物をなくす方法を実行して生活していく。	○実践への意欲を継続できるように、自分が決めたことに取り組んでいる子どもを称賛する。	
【備考】			

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 3年 1学期

3年生になって		4月(1時間)	
ねらい	めあてをもって生活することのよさを理解し、3年生になって頑張っていきたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分のめあてを決定するとともに、一人一人が実行し、めあてを意識して生活を送る。		
評価規準	(①知・技)めあてをもって生活することのよさを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)3年生になって頑張っていきたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、3年生になって頑張っていきたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、なりたい3年生の姿についてのアンケート結果を提示する。	
本時	○3年生の生活について発表し合い、めあてをもって生活することのよさを知る。 ○3年生で1学期に頑張りたいことについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分で取り組んでいくめあてを決め、めあてカードに書く。	○問題意識を高められるように、2年生の生活との違いについて学習面や生活面、行事等の面から助言する。 ○具体的に頑張っていきたいことを考えられるように、1学期の活動の概要や3年生ならではの生活について助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてが考えられた子どもを称賛したり、励ましたりする。	◇頑張りたいことを進んで発言したり、自分のめあてを記述したりしている。 <発言・めあてカード①②③>
事後	○めあてに基づいて生活し、実行の様子を振り返る。	○今後の生活の仕方を意識できるように、毎月実施する学校生活の振り返りの際等に実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・めあてカードを準備しておく。			

ぼくのわたしのがんばりノート		5月(1時間)	
ねらい	計画的・継続的な自主学習のよさを知り、自分が工夫できる学習内容について、根拠を明らかにして話し合い、自分に合った内容を決定するとともに一人一人が実行し、進んで自主学習に取り組む。		
評価規準	(①知・技)計画的・継続的な自主学習のよさを知り、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)自分が工夫できる学習内容についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、自分が工夫できる学習内容について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、がんばりノートの取組状況についてのアンケート結果を提示する。	
本時	○互いのがんばりノートの内容を紹介し合い、計画的・継続的に取り組む自主学習のよさを知る。 ○さらに工夫できる学習内容について、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が実行していくことを決める。	○問題意識を高められるように、計画的・継続的に自主学習に取り組んでいる子どもを称賛する。 ○具体的な取組内容を考えられるように、これまでの各教科の学習内容や友達のノートの例を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの取組が考えられた子どもを称賛したり励ましたりする。	◇継続できることや、自分に合っていること等の観点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○学習内容を工夫し、継続してがんばりノートに取り組む。	○今後の生活の仕方を意識できるように、定期的実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・本時で実際のがんばりノートを活用するとよい。			

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 3年1学期

1学期を振り返ろう		7月(1時間)	
ねらい	自分の生活を向上させてきたことよさを基に、学期始めに立てためあての達成度について根拠を明らかにして話し合い、成果や課題を自覚するとともに、努力したことを続けたり、新たに発見した課題に取り組んだりする。		
評価規準	(①知・技) 自分の生活を向上させてきたことよさを理解し、自分のめあてと照らしながら、1学期の生活を振り返っている。 (②思・判・表) 1学期の生活の成果や課題を見だし、これからの自分の生活に必要なことを自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、1学期の成果や課題について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、月ごとに記入した「学校生活の振り返り」を提示する。	
本時	○めあての達成度について発表し合い、自分の生活を向上させてきたことよさを知る。 ○学期始めに立てためあての達成度について、根拠を明らかにして話し合う。 ○1学期の振り返りをカードに書く。	○問題意識を高められるように、自分の生活を向上させることにつながった具体的なよい姿を提示する。 ○1学期に努力した成果や課題を自覚できるように、具体的な学校生活の場面を基に考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分の成果や課題を基にこれからの自分の生活に必要なことを記述している児童を称賛したり励ましたりする。	
事後	○自分の振り返りに基づいて生活する。	○振り返ったことを今後の生活に生かせるよう、振り返りを意識して生活している児童を称賛する。	
【備考】 ・通知表を配付する。			

夏休みの計画をつくろう		7月(1時間)	
ねらい	めあてをもって夏休みを過ごすことよさを理解し、夏休みに頑張りたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合っためあてを決定するとともに、一人一人が実行し、楽しい夏休みを送る。		
評価規準	(①知・技) めあてをもって夏休みを過ごすことよさを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 夏休みに頑張りたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、夏休みに頑張りたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、夏休み中の行事や期間を伝える。	
本時	○3年生の夏休みを振り返ってよくできたことやできなかったことを発表し合い、めあてをもって夏休みを過ごすことよさを知る。 ○夏休みのめあてを学習面、生活面から根拠を明らかにして、話し合う。 ○自分のめあてを決め、「○○の夏休み」に書く。	○問題意識を高められるように、2年生の夏休みによくできなかった原因を問いかける。 ○より夏休みにふさわしいめあてについて話し合えるように、夏休みだからこそできることについて助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてが考えられた子どもを称賛したり励ましたりする。	
事後	○めあてに基づいて夏休みを過ごし、自己評価する。	○今後の生活の仕方を意識できるように、夏休み明けに実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・「○○の夏休み」を準備しておく。 ・夏休みの宿題を配付する。			

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 3年 2学期

係をがんばろう		(1時間)	
ねらい	1学期の成果をふまえ、学級の係活動を見直して取り組んでいくよさを基に、2学期の係について根拠を明らかにして話し合い、係活動とその仕事内容を集団決定するとともに、毎日の係活動に取り組むことによって、全員で分担、協力して仕事に取り組む充実感を味わう。		
評価 規準	(①知・技) 2学期に必要な係について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 2学期に必要な係についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、2学期に必要な係について話し合ったり係活動を行ったりしようとしている。		
活動内容		指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、1学期の係活動の成果や課題を伝える。	
本時	○1学期の経験を生かし、必要な係について根拠を明らかにして話し合い、自分の取り組みたい係を決める。 ○係ごとに話し合い、めあてを決めたり、活動の計画を立てたりする。	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「学級の役に立つ」「自分たちでできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇取り組みたい係や、学級のためになる係を発言したり、活動の計画を立てたりしている。 <発言・ポスター①②③>
事後	○めあてや計画に基づいて取り組む。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・係ごとにポスターを作り、掲示する。			

学級活動の計画をつくろう		(1時間)	
ねらい	計画委員会を中心に組織的に課題を解決していくことのよさを基に、計画委員会ごとに取り組む議題について根拠を明らかにして話し合い、担当する議題を集団決定するとともに、役割を分担し合って協力して取り組むことによって、自分たちで生活をよりよくする充実感を味わう。		
評価 規準	(①知・技) 担当する議題について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 担当する議題を決めることについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、担当する議題について話し合ったり自分の役割を行ったりしようとしている。		
活動内容		指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、計画委員を編成し、2学期の題材例を紹介する。	
本時	○計画委員会ごとに取り組みたい題材について、根拠を明らかにして話し合う。 ○担当する題材の調整を行い、議題や活動のめあて等を決める。	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「学級がよりよくなる」「自分たちでできる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇友達の考えのよさを認めながら担当する議題を選んだり計画を立てたりしている。 <行動・学級活動計画書①②③>
事後	○計画委員会ごとに学級活動計画書を作成する。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・学級活動計画書を準備しておく。 ・計画委員会は男女混合5人程度で組織する。			

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 3年 2学期

運動会に向けて (1時間)		
ねらい	友達と協力し合いながら運動会に取り組むよさを基に、運動会に向けた学級の取組について根拠を明らかにして話し合い、運動会への取組を集団決定するとともに、協力して取り組むことによって、運動会を全員で頑張った充実感を味わう。	
評価規準	(①知・技) 運動会に向けた学級の取組について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 運動会に向けた学級の取組についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、運動会に向けた学級の取組について話し合ったり決めたことを行ったりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、運動会で競技をしている写真や、応援している写真を提示する。
本時	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「全員ができる」「楽しく充実した運動会になる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○決定したことを掲示し、運動会の練習や本番で実行していく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
【備考】	・学校行事の全体練習や応援練習等との関連を図り、適切な時期に行えるとよい。 ・運動会の日程や内容を見通せる資料があるとよい。	

教生の先生とのお別れ会をしよう (2時間)		
ねらい	実習生に感謝の気持ちを伝えるよさを基に、実習生とのお別れ会の内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい集会の内容を集団決定するとともに、役割を分担し合って、協力して集会を行うことによって、実習生に感謝の気持ちを伝える集会の楽しさを味わう。	
評価規準	(①知・技) 実習生とのお別れ会の内容について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 実習生とのお別れ会の内容についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、実習生とのお別れ会の内容について話し合ったりお別れ会に参加したりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、実習生との写真を提示する。
第1時	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「感謝の気持ちが伝わる」「みんなが楽しめる」等の話し合いの視点を提示する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
第2時	○集会に積極的に参加できるように、集会のめあてやルール等について確認するよう促す。 ○日常生活に生かそうという意欲をもてるように、実習生に感謝の気持ちを伝えられたことを称賛する。	◇決定したことを基に、みんなで協力して、楽しくお別れ会を行っている。 <行動③>
事後	○日常生活の中で様々な集会を行っていく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
【備考】		

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 3年 2学期

みんなであいさつをしよう (1時間)		
ねらい	学級で好きなあいさつを選び、全員であいさつをすることのよさを基に、あいさつをすることの根拠を明らかにして話し合い、みんなが行うことを集団決定するとともに、役割を分担し合って協力して取り組むことによって、学校生活の中であいさつをして気持ちがよくなることを味わう。	
評価規準	(①知・技) みんなでするあいさつについて根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) みんなであいさつをすることについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、みんなであいさつをすることについて話し合ったり決めた歌を楽しく歌ったりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、上級生が姿を例示する。
本時	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「全員ができる」「学級目標に合っている」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○決定したことを基に、学級で歌う活動を実行していく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
【備考】 ・歌が歌えないのであいさつに変更(R04)以前は、学級の歌を掲示し、朝や帰りの会で歌っていく。(H29は妙義オリのグループの歌にした)		

よりよい学級にしよう (1時間)		
ねらい	よりよい学級にすることのよさを基に、学級全体で取り組んでいくことについて根拠を明らかにして話し合い、具体的な取組を集団決定するとともに、協力して生活することによって学級生活を向上させる充実感を味わう。	
評価規準	(①知・技) 学級全体で取り組んでいくことについて根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 学級全体で取り組んでいくことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、学級全体で取り組んでいくことについて話し合ったり決めたことを行ったりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、学級生活を振り返ってよりよくしていきたいことについてのアンケート結果を提示する。
本時	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「学級目標に近づく」「みんなができる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○決定したことを基に、よりよい学級づくりを実行していく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。
【備考】 ・議題ボックスを準備しておき、そこに寄せられた課題を基に議題を設定してもよい。 ・係活動での課題を基に議題を設定し、次学期の係活動に向けて話し合ってもよい。		

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 3年 2学期

遊びをしようかしよう		(2時間)	
ねらい	友達のよさを遊びから見付ける楽しさを基に、互いに好きな遊びを紹介する集会の内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい集会の内容を集団決定するとともに、役割を分担し合って、協力して集会を行うことによって、友達のよさを見付ける楽しさを味わう。		
評価 規準	(①知・技) 互いに好きな遊びを紹介する集会の内容について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 互いに好きな遊びを紹介する集会の内容についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、互いに好きな遊びを紹介する集会の内容について話し合ったり集会に参加したりしようとしている。		
活動内容		指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、友達のよさを見付ける集会をすることのよさについて伝える。	
第1時	○友達のよさをすることを目的とした遊びを紹介し合う集会の内容について、根拠を明らかにして話し合う。 ○集会の内容や役割分担を決定する。	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「友達のよさを見付けられる」「みんなができる」等の話し合いの視点を提示する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の取組に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
第2時	○決定したことを基に、楽しく集会をする。 ○集会で見つけた友達のよさを発表し合い、集会をまとめる。	○集会に積極的に参加できるように、集会のめあてやルール等について確認するよう促す。 ○日常生活の中に生かそうという意欲を高められるように、集会で友達のよさが見付けられたことや計画通りに集会が進められたことを称賛する。	◇決定したことを基にみんなで協力して、楽しく集会を行って <行動③>
事後	○集会で見つけた友達のよさを日常生活に生かしていく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】			

学級活動 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 3年 2学期

けがなく過ごそう(養護教諭とのTT)		10月(1時間)
ねらい	健康な生活の大切さを理解し、けがから自分の体を守る方法について根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに一人一人が実行し、体を大切にされた健康な生活を送る。	
評価規準	(①知・技) 健康な生活の大切さを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) けがから自分の体を守る方法についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、けがから自分の体を守る方法について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。	
	活動内容	指導上の留意点
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、校内で起こるけがの資料を提示する。
本時	○不注意や準備不足などから起こるけがの予防・対処の仕方を知る。 ○けがから自分の体を守る方法について、根拠を明らかにして話し合う。 ○けがから自分の体を守る方法について、自分でできる方法を決定する。	○問題意識を高められるように、養護教諭は、けがの予防と対処の仕方が分かる絵資料等を提示する。 ○具体的な方法を考えられるように、けがをしそうな場面を想起させ、けがから自分の体を守る行動を助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの方法が決められた子どもを称賛する。
事後	○自分で決めた方法を毎日の生活の中で実行していく。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。
【備考】 ・養護教諭と連絡を取り合い、指導を進める。授業もTTで行う。		

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 3年 2学期

2学期のめあてをつくろう		8月(1時間)	
ねらい	めあてをもって生活することのよさを知り、2学期に頑張っていきたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分のめあてを決定するとともに、一人一人が実行し、めあてを意識して生活を送る。		
評価規準	(①知・技)めあてをもって生活することのよさを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)2学期に頑張っていきたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、2学期に頑張っていきたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、1学期のめあてを振り返る時間を設定する。	
本時	○1学期や夏休みの生活を振り返り、めあてをもって生活することのよさを知る。 ○さらに自分を高める学習や生活のめあてについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてをカードに書く。	○問題意識を高められるように、1学期のめあてがどのくらい達成できたか問いかける。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「2学期の学習や生活に合っている」「自分を高められる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてが考えられた子どもを称賛したり、励ましたりする。	◇1学期や夏休みの生活を振り返りながら、頑張りたいことを発言したりめあてを記述したりしている。 <発言・めあてカード①②③>
事後	○自分のめあてに基づいて生活する。	○今後の生活の仕方を意識できるように、学期末に実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・めあてを書くカードを準備しておく。			

2学期を振り返ろう		12月(1時間)	
ねらい	自分の生活を向上させてきたことのよさを基に、学期始めに立てためあての達成度について根拠を明らかにして話し合い、成果や課題を自覚するとともに、努力したことを続けたり、新たに発見した課題に取り組んだりする。		
評価規準	(①知・技)自分の生活を向上させてきたことのよさを理解し、自分のめあてと照らしながら、2学期の生活を振り返っている。 (②思・判・表)2学期の生活の成果や課題を見だし、これからの自分の生活に必要なことを自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、2学期の成果や課題について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材についての問題意識をもてるように、月ごとに記入した「学校生活の振り返り」を提示する。	
本時	○めあての達成度について発表し合い、自分の生活を向上させてきたことのよさを知る。 ○学期始めに立てためあての達成度について、根拠を明らかにして話し合う。 ○2学期の振り返りをカードに書く。	○問題意識を高められるように、自分の生活を向上させることにつながった具体的なよい姿を提示する。 ○2学期に努力した成果や課題を自覚できるように、具体的な学校生活の場面を基に考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分の成果や課題を基にこれからの自分の生活に必要なことを記述している児童を称賛したり励ましたりする。	◇2学期の成果や課題を発言したり記述したりしている。 <発言・振り返りカード①②③>
事後	○自分の振り返りに基づいて生活する。	○振り返ったことを今後の生活に生かせるよう、振り返りを意識して生活している児童を称賛する。	
【備考】 ・通知表を配付する。			

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 3年 2学期

冬休みの計画をつくろう		12月(1時間)	
ねらい	めあてをもって冬休みを過ごすことよさを知り、冬休みに頑張りたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合っためあてを決定するとともに、一人一人が実行し、楽しい冬休みを送る。		
評価規準	(①知・技)めあてをもって冬休みを過ごすことよさを知り、冬休みに頑張りたいことについて自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)冬休みに頑張りたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、冬休みに頑張りたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、冬休み中の行事や期間を伝える。	
本時	○2学期のめあてを振り返り、めあてをもって冬休みを過ごすことよさを知る。 ○冬休みのめあてを学習面、生活面から根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてを決め、「○○の冬休み」に記入する。	○問題意識を高められるように、冬休みの過ごし方のよい例や悪い例を紹介する。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「冬休み 合っている」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあて を考えられた子どもを称賛したり、励ましたりする。	◇冬休みのめあてを発言したり記述したりしている。 <発言・○○の冬休み①②③>
事後	○計画に基づいて冬休みを過ごし、自己評価する。	○今後の生活の仕方を意識できるように、冬休み明けに実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】	・「○○の冬休み」の紙を用意しておく。 ・冬休みの宿題を配付する。		

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 3年 3学期

係をがんばろう		(1時間)	
ねらい	これまでの成果を踏まえ、学級の係活動を見直し、取り組んでいくよさを基に、3学期に必要な係について根拠を明らかにして話し合い、係活動とその仕事内容を集団決定するとともに、毎日の係活動に取り組むことによって、全員で分担、協力して仕事に取り組む楽しさを味わう。		
評価規準	(①知・技) 3学期に必要な係について、根拠とともに意見を伝えたり、自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 3学期に必要な係についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、3学期に必要な係について話し合ったり、係活動を行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、2学期の係活動の成果や課題を伝える。	
本時	○3学期に必要な係について、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分の取り組みたい係を決め、活動の計画を立てる。	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「学級の役に立つ」「自分たちでできる」などの話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、これからの取組を励ましたりする。	◇進んで取り組みたい係や学級のためになる係を発言したり、活動の計画を立てたりしている。<発言・ポスター①②③>
事後	○活動計画に従い、係活動に取り組む。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う機会を設定する。	
【備考】 ・係のメンバーや仕事内容を書いたポスター等を掲示する。			

よりよい学級にしよう		(1時間)	
ねらい	よりよい学級にすることのよさを基に、学級全体で取り組んでいくことについて根拠を明らかにして話し合い、具体的な取組を集団決定するとともに、協力して生活することによって学級生活を向上させる充実感を味わう。		
評価規準	(①知・技) 学級全体で取り組んでいくことについて根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 学級全体で取り組んでいくことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の見解を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、学級全体で取り組んでいくことについて話し合ったり決めたことを行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、学級生活を振り返ってよりよくしていきたいことについてのアンケート結果を提示する。	
本時	○よりよい学級にするために取り組んでいくことについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○学級全体で取り組んでいくことを決める。	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「学級目標に近づく」「みんなができる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、今後の活動に向けて励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○決定したことを基に、よりよい学級づくりを実行していく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・議題ボックスを準備しておき、そこに寄せられた課題を基に議題を設定してもよい。 ・係活動での課題を基に議題を設定し、次学期の係活動に向けて話し合ってもよい。			

学級活動 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 3年 3学期

室内ゲーム集会をしよう		(2時間)
ねらい	外遊びでは見られない友達のよさを室内の遊びから見付ける楽しさを基に、室内でできる遊びを行う集会の内容について根拠を明らかにして話し合い、よりよい集会の内容を集団決定するとともに、役割を分担し、協力して集会を行うことによって、友達のよさを知る楽しさを味わう。	
評価規準	(①知・技) 室内でできる遊びを行う集会の内容について根拠とともに意見を伝えたり自分と異なる意見を受け入れたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。 (②思・判・表) 室内でできる遊びを行う集会の内容についての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を生かして合意形成を図っている。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、室内でできる遊びを行う集会の内容について話し合ったり室内ゲーム集会に参加したりしようとしている。	
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う議題を知る。	○本時の議題について自分なりの考えをもてるように、室内の遊びでは、運動とは違った友達のよさが現れることを伝える。
第1時	○集会の内容や活動形態、役割分担について、根拠を明らかにして話し合う。 ○集会の内容等を決める。	○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「友達のよさが見付けられる」「みんなが楽しめる」などの話し合いの視点を提示する。 ○第2時への意欲を高められるように、話し合いの様子を称賛したり、本番に向けて励ましたりする。
第2時	○計画を基に楽しく集会をする。 ○見つけた友達のよさを発表し合い、集会をまとめる。	○集会に進んで取り組めるように、前時に決めたことやルールなどについて提示する。 ○日常生活に生かそうという意欲を高められるように、計画通りに集会が進められたことや友達のよさが見付けられたことを称賛する。
事後	○集会で見つけた友達のよさを日常生活に生かしていく。	○実践の充実感を感じられるように、実践後に成果を伝え合う機会を設定する。
【備考】	・学年末の「お楽しみ集会をしよう」に変更することも可能。	

学級活動 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 3年 2学期

気持ちよい会話		2月(1時間)	
ねらい	気持ちよい言葉がけをするよさを理解し、時と場面に応じての言葉がけについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合った方法を決定するとともに一人一人が実行し、気持ちよく生活を送る。		
評価 規準	(①知・技) 気持ちよい言葉がけをするよさを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表) 時と場面に応じての言葉がけについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度) 進んで友達と関わりながら、時と場面に応じての言葉がけについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
	活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、気持ちのよい言葉がけをしている子どもを紹介する。	
本時	○一言の言葉がけによって互いに気持ちよくなる場面について発表し合い、気持ちよい言葉がけをするよさを知る。 ○時と場面に応じてどんな言葉をかけたらいいかということについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が実行していくことを決める。	○問題意識を高められるように、日常生活でよく見かける具体的な場面を設定し、一言の言葉がけがある場合とない場合の役割演技を促す。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「互いに気持ちよくなる」等の話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりの方法が考えられた子どもを称賛したり、励ましたりする。	◇話し合いの視点に沿って、根拠を明らかにして自分の考えを発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント①②③>
事後	○毎日の生活の中で、気持ちよい言葉がけを実行していく。	○実践への意欲を継続できるように、帰りの会等で成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】			

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 3年 3学期

3学期のめあてをつくろう		1月(1時間)	
ねらい	めあてをもって生活することのよさを理解し、3学期にがんばっていきたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分のめあてを決定するとともに、一人一人が実行し、めあてを意識して生活を送る。		
評価規準	(①知・技)めあてをもって生活することのよさを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)3学期にがんばっていきたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、3学期にがんばっていきたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、2学期のめあてを振り返る時間を設定する。	
本時	○3学期にがんばったことを発表し合い、めあてをもって生活することのよさを知る。 ○3学期のめあてについて、根拠を明らかにして話し合う。 ○自分が取り組んでいくめあてを決め、カードに書く。	○問題意識を高められるように、4年生に向けて準備ができていることを問いかける。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「3学期の学習や生活に合っている」「自分を高められる」などの話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてが考えられた子どもを称賛したり、励ましたりする。	◇進んでがんばりたいことを発言したり、めあてを記述したりしている。 <発言・めあてカード①②③>
事後	○自分のめあてに基づいて生活していく。	○今後の生活の仕方を意識できるように、学期末に実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・めあてを書くカードを準備しておく。			

3学期を振り返ろう		3月(1時間)	
ねらい	自分の生活を向上させてきたことのよさを基に、学期始めに立てためあての達成度について根拠を明らかにして話し合い、成果や課題を自覚するとともに、努力したことを続けたり、新たに発見した課題に取り組んだりする。		
評価規準	(①知・技)自分の生活を向上させてきたことのよさを理解し、自分のめあてと照らしながら、3学期の生活を振り返っている。 (②思・判・表)3学期の生活の成果や課題を見だし、これからの自分の生活に必要なことを自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、3学期の成果や課題について話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について問題意識をもてるように、月ごとに記入した「学校生活の振り返り」を提示する。	
本時	○めあての達成度について発表し合い、自分の生活を向上させてきたことのよさを知る。 ○学期始めに立てためあての達成度について、根拠を明らかにして話し合う。 ○3学期の振り返りをカードに書く。	○問題意識を高められるように、自分の生活を向上させることにつながった具体的なよい姿を提示する。 ○3学期に努力した成果や課題を自覚できるように、具体的な学校生活の場面を基に考えるよう助言する。 ○実践への意欲を高められるように、自分の成果や課題を基にこれからの自分の生活に必要なことを記述している児童を称賛したり励ましたりする。	◇3学期の成果や課題を発言したり記述したりしている。 <発言・振り返りカード①②③>
事後	○自分の振り返りに基づいて生活する。	○振り返ったことを今後の生活に生かせるよう、振り返りを意識して生活している児童を称賛する。	
【備考】 ・通知表を配付する。			

学級活動 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 3年 3学期

春休みの計画をつくろう		3月(1時間)	
ねらい	めあてをもって春休みを過ごすことよさを理解し、春休みにがんばりたいことについて根拠を明らかにして話し合い、自分に合っためあてを決定するとともに一人一人が実行し、楽しい春休みを送る。		
評価 規準	(①知・技)めあてをもって春休みを過ごすことよさを理解し、自己決定したことを実行している。 (②思・判・表)春休みにがんばりたいことについての課題を見だし、解決するために話し合い、友達の意見を踏まえながら自己決定している。 (③主体的態度)進んで友達と関わりながら、春休みにがんばりたいことについて話し合ったり自己決定したことを行ったりしようとしている。		
活動内容	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」	
事前	○本時に話し合う題材を知る。	○本時の題材について自分なりの考えをもてるように、春休み中の行事や期間を伝える。	
本時	○1年間に自分が成長できたことを発表し合い、春休みをめあてをもって過ごすことよさを知る。 ○春休みのめあてについて、学習面、生活面から根拠を明らかにして話し合う。 ○自分のめあてを決め、「○○の春休み」に書く。	○問題意識を高められるように、めあての大切さを問いかける。 ○一人一人が根拠をもって話し合えるように、「4年生への準備ができる」「自分を高められる」などの話し合いの視点を提示する。 ○実践への意欲を高められるように、自分なりのめあてが決められた子どもを称賛したり、励ましたりする。	◇進んでめあてを発言したり記述したりしている。 <発言・○○の春休み①②③>
事後	○めあてに基づいて春休みを過ごし、自己評価する。	○今後の生活の仕方を意識できるように、春休み明けに実践の成果や課題を伝え合う時間を設定する。	
【備考】 ・「○○の春休み」を準備しておく。			